

近隣市町村との方面別意見交換会の開催結果

1 主旨

近隣市町村が互いに自主・自立しながら、連携強化を図っていくため、近隣市町村を7方面に分けて、実務レベルの意見交換を開催し、新たなニーズの掘り起こしを行うとともに、この地域の課題や情報を共有する。

2 テーマ

近隣市町村における今後の連携について

3 出席者

近隣市町村長懇談会に参加する市町村の企画担当の部長級又は課長級職員

4 意見交換会の構成

- (1) 名古屋市から各市町村に対して、連携が求められる背景、連携に向けたこれまでの取組経過などを説明
- (2) 名古屋市から各市町村に対して、名古屋市との連携に関するニーズ調査を依頼
- (3) 近隣市町村における今後の連携について意見交換

5 開催概要

(1) 開催日等

月 日	区 分	市町村名	場 所
9月25日	尾張中部	清須市、北名古屋市、豊山町	豊山町役場
9月26日	尾張西部	一宮市、稲沢市	一宮市役所
10月 9日	尾張北部	春日井市、犬山市、江南市、小牧市、岩倉市、大口町、扶桑町	江南市役所
10月10日	知多地区	半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町	大府市役所
10月10日	海部地区	津島市、愛西市、弥富市、あま市、大治町、蟹江町、飛島村	あま市役所
10月12日	尾張東部	瀬戸市、尾張旭市、豊明市、日進市、長久手市、東郷町	豊明市役所
10月25日	豊田加茂等	豊田市、刈谷市、みよし市	豊田市役所

※人口：平成22年国勢調査

(2) 主な意見等

ア 連携全般

- 従来から県下の市町村においては、名古屋市を除いて圏域がつくられてきたが、今回、名古屋市がその圏域を超えて、方面別意見交換会を開催したことは意義がある。
- 市境で住民サービスの内容が異なっていることに違和感を持つ住民もいるので、広域連携は重要である。
- 名古屋市と隣接していない市町村にとっては、名古屋市との連携のイメージがわからない。
- 近隣市町村全体ではなく、隣接する自治体同士の方が連携しやすいのではないか。
- リニア中央新幹線が開通した時、東京の通勤圏になる恐れがあるので、名古屋市としてこの都市圏をどうしていこうと思っているのかを示してほしい。どうせなら東京ぐらいの圏域をめざしてほしい。
- 広域連携を進める際には、企画部門だけでなく、事業部門にも広げて議論すべきである。
- 愛知県や既存の連携組織との整合性を図りながら進めてほしい。

イ 分野別

(ア) 防災

- 災害時に最も頼りになるのは近隣市町村なので、市町村同士の広域連携を進める中で親密度を高めていきたい。
- 南海トラフ巨大地震やそれに伴う津波の発生に備えて、応援協定を締結し、お互いの協力体制を整えておくことが重要である。
- 近隣市町村同士で集中豪雨など局地的な災害への対応も考えておくべきである。
- 近隣市町村が被災した時には、名古屋市には組織力を活かした復旧活動をお願いしたい。

(イ) 観光・文化

- 近隣市町村同士で広域的な観光を推進していくのなら、ぜひ参画したい。
- 名古屋市にはイベントやお祭りを通じた連携をお願いしたい。
- 人口減少社会が進む中、交流人口を増やす工夫が必要。名古屋と近隣市町村との間で人が行き交うような仕掛けが考えられないか。
- 各市町村の良さをPRする素材は探せばもっと出てくるはずである。

(ウ) 人事交流

- 自治体としての規模が小さく、弱い部門があるので、同じ基礎自治体である名古屋市にはぜひ人事交流を検討してほしい。
- 名古屋市は各分野でいろんなケースを把握しており、ノウハウが蓄積されている。人事交流により、近隣市町村の職員のレベルアップを図ることができる。
- 今は公共事業を多く抱えており、技術系の職員が欲しいが、将来にわたり必要というわけではない。期限を切って派遣をしてもらうなど、短期で人材を活用できる仕組みがあるといい。

(エ) 交通

- 名古屋市域外への市バス路線の延伸又は新設についてご検討いただきたい。
- リニア中央新幹線の開通を見据えた交通網の見直しが必要である。
- 名古屋高速道路が整備され、名古屋市内へのアクセスが向上した。名古屋市とは引き続き交通インフラの整備について話し合っていきたい。

(オ) その他

- 公共施設について、近隣市町村が連携して共同利用や共同建替えを行っていく視点が必要である。
- 鉄道沿線の市町村が共同で駐輪対策に取り組んではどうか。
- 広域連携により、圏域全体の魅力を高め、企業誘致に取り組むということなら、ぜひ参加していきたい。
- 小さい市町村にとっては単独で火葬場を整備するのが難しい。周辺の市町村と相談させていただきたい。